

今宮工科高校で出前講座

関西鉄筋工業協同組合

58名が鉄筋組立作業を体験 同校OBも講師で参加

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は6月28日、大阪市西成区の大阪府立今宮工科高等学校で出前講座を開催しました。当日の出前講座には、1～3時限に建築設計専科の3年生29名、4～6時限に建築生産専科の3年生29名の合計58名が参加し、職人の指導を受けながらハッカー使つての結束作業や圧接作業の実演見学及び体験をしました。

講座の冒頭で挨拶した同校の高嶋保校長は「ものづくりにはそれぞれの役割があり、お互いの意思の疎通がなければ良いものはできない。本日の出前講座を通じてそのことを学んで皆さんの今後に生かしてほしい」と述べました。続いて、岩田理事長も「きょうは組立作業を通してものづくりの楽しさを感じ取ってほしい。そして、皆さんが社会に出て壁にぶつかった時、きょうのことを思い出してもらえれば幸いだ」と期待を込めました。

当日はまず、DVDを使った座学で鉄筋工事の役割や建設工事全体の流れなどを紹介した後、生徒たちは4班に分かれて柱・壁の鉄筋組立と2級検定モデルの鉄筋組立を体験。最初はハッカーの使い方にとまどっていた生徒たちは、職人の技術を見たり指導を受けたりしながら徐々にうまくなり、楽しそうに結束作業に取り組んでいました。また、鉄筋組立の合間には班ごとに圧接作業の見学と体験をし、ガス圧接の原理や鉄筋継ぎ手工法の種類などについて学びました。

なお、今回は昨年の出前講座がきっかけで今春、組合会員企業の榊中鉄（高槻市）に就職した同校OBの石井力也さん（19歳）も講師の一人として参加し、「少し緊張した」と言いながらも後輩たちを熱心に指導していました。

今回の出前講座に参加協力、応援をいただいた組合会員は次の通りです。

- ・ 岩田理事長
- ・ 田浦真一副理事長
- ・ 森山直樹氏（城東鉄筋）
- ・ 田村晃一氏（田村工業）
- ・ 富田勇氏（富田興業）
- ・ 恵谷信氏（恵谷鉄筋）
- ・ 今村俊郎氏（吉岡工業）
- ・ 職人：藤岡さん（田浦）、三島さん（中鉄）、石井さん（中鉄）、渡辺さん（田村工業）

